

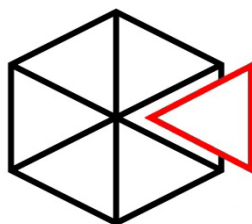
ひとづくり と 地域づくり の デザイナー “ウェルビー・デザイン”

# 一般社団法人 Wellbe Design

## 2022 年度 事業報告

---

Wellbe Design (ウェルビー・デザイン) は、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー (CSW) を目指す人と CSWを育てる機関、CSWとして実践する人と組織を支援し、地域福祉の底上げを目指す組織です。





# 目次 index

|                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 1. はじめに .....                     | - 5 -  |
| 2. 事業報告 .....                     | - 6 -  |
| 1) コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業.....     | - 6 -  |
| 2) 地域福祉人材の育成に関する事業.....           | - 16 - |
| 3) 地域福祉活動の推進に関する事業.....           | - 24 - |
| 4) 研究活動への支援等に関する事業.....           | - 27 - |
| 5) 地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業..... | - 30 - |
| 6) 各種団体に対する事務局等の支援に関する事業.....     | - 32 - |
| 7) その他の事業 .....                   | - 35 - |
| 8) 法人運営事業 .....                   | - 41 - |
| 3. あしあと .....                     | - 44 - |
| 4. 収支決算 .....                     | - 46 - |
| 5. わたしたちの取り組み.....                | - 48 - |
| 6. 定款 .....                       | - 49 - |
| 7. 役職員紹介 Staff.....               | - 53 - |
| 8. ご支援（会員登録）のお願い Support.....     | - 54 - |
| 9. 事務所在地 Office .....             | - 57 - |



# 1. はじめに

2022年度は当法人設立10周年を記念し、これまで培った経験とネットワークをカタチにした主催事業を数多く展開してきました。

中でも全5回、隔週で連続開催した「市区町村社協職員基礎講座」は定員を大きく超える延178名に参加いただきました。勤続3年未満の職員をターゲットにした研修でしたが、参加者の半数は中堅職員であり、勤続年数によらず多くの社協職員がこのような学びの場を求めていることが分かりました。「次年度の予算を獲得するので是非開催して欲しい」との声も多く寄せられ、既に本年度の開催をスタートしたところです。

また、沖縄県に拠点を置く特定非営利活動法人まちなか研究所わくわくとの協働事業として実施した「地域福祉活動計画策定・評価セミナー」は、地域福祉計画策定で関係する北海道、岡山県、沖縄県の10社協を対象に実施し、計画策定プロセスや評価方法について相互の情報交換を行うことができ、主催した私たちにとっても多くの学びがありました。

更に、公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟の協力により実施した「民生委員児童委員を知れる講座」は北海道内外から25名のNPO、地域包括支援センター、行政職員等に参加いただき、民生委員・児童委員活動の歴史や身近な支援者としての存在について知っていただく機会となりました。

世界では新型コロナウイルスによる影響が長期化するだけでなく、紛争や侵略など命と暮らしが脅かされる出来事が発生しています。こうした出来事は私たちの身近な生活・暮らしにも徐々に影響をもたらせています。当法人ではこれからも、時代の状態やニーズに即した活動を模索しながら、次の10年への歩みを続けてまいります。

この度、法人設立11期目となる2022（令和4）年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の当法人の全事業が完了し、本事業報告書を作成いたしました。多くの機関や皆さまのご協力やご支援をお受けし、各種の事業が実施できたことを心よりお礼申し上げます。

当法人にお力添えをいただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げますとともに、12年目のはじまりとなる2023年度も更なるご指導とご厚情ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月1日

一般社団法人 Wellbe Design

理事長 篠原 辰二

## 2. 事業報告

(以下、敬称略)

### 1) コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業

契約等に基づき、特定の地域及び組織機関等のコミュニティ形成支援や研究、開発、支援活動を行っています。

#### ① 委嘱等に基づく事業

##### -01. 札幌市地域福祉社会計画審議会

依頼者 札幌市（保健福祉局）

期間 2019年4月1日～2023年3月31日

内容 札幌市が2018年に策定した「札幌市地域福祉社会計画」に係る評価・分析や策定を担う審議会の委員（副会長）に、当法人篠原理事長が委嘱を受け参加

・2022年7月7日                      ・2022年11月29日

■打ち合わせ

・2022年5月28日                      ・2023年3月2日

参考 <https://www.city.sapporo.jp/chiiifukushi/keikaku/>

##### -02. 札幌市まちセンアドバイザー

依頼者 札幌市（市民文化局市民自治推進課）

期間 2020年6月1日～2023年3月31日

内容 札幌市内88か所のまちづくりセンターを拠点とした地域のまちづくりを進めるためのアドバイザー派遣事業におけるアドバイザーに就任

参考 <https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/machisen/top.html>

##### -03. 民生委員児童委員協議会のあり方に関する検討委員会

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

期間 2021年6月1日～2023年3月31日

内容 北海道民生委員児童委員連盟が実施する委員のなり手不足、次代を担う人材の確保、支え合う民児協づくり、研修の質の担保など、現在直面している多岐にわたる今日的課題に対して、これからの民生委員児童委員協議会のあり方を検討し提案する検討委員の委嘱を受け検討会議等へ参画

・2022年12月12日

##### -04. 介護予防活動普及展開事業

依頼者 北海道（保健福祉部高齢者支援局）

期間 2020年6月1日～2023年3月31日

場 所 仁木町・苫小牧市・登別市

内 容 厚生労働省老健局老人保健課が所管する「介護予防活動普及展開事業」について北海道庁からアドバイザーの委嘱を受け、道内各市町村への支援を実施

■仁木町 ・2022年12月19日 ・2023年3月22日

■苫小牧市 ・2022年10月14日 ・2023年3月16日

■登別市 ・2022年10月14日 ・2023年2月10日

参 考 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/yobou/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index.html)

## -05. 誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業アドバイザー業務

依頼者 さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール  
札幌市（保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課）

期 間 2020年8月1日～2023年3月31日

場 所 札幌市

内 容 災害が発生した際に障がいのある方が安心して避難できるよう、町内会・自治会等の取り組みを支援する等事業において、外部アドバイザーの委嘱を受け会議へ参画

・2023年3月10日 打ち合わせ

・2023年3月23日 外部アドバイザー会議

参 考 <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/anshinnomati/index.html>

## -06. 令和4年度地域ケア会議等市町村支援事業

依頼者 北海道胆振総合振興局（保健環境部）

場 所 苫小牧市

内 容 保険者の機能強化を目指して実施される「地域ケア会議等市町村支援事業」において北海道庁からの派遣要請を受け、苫小牧市役所及び市内各地域包括支援センター職員を対象に、地域ケア会議を円滑に運営するためのファシリテーション研修を実施

・2022年12月22日

・2023年3月16日

## ② 委託契約等に基づく事業

## -07. 名寄市社協第5期地域福祉実践計画推進事業に係るアドバイザー業務

依頼者 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

場 所 名寄市

内 容 2023年4月に策定予定の「第5期名寄市地域福祉実践計画」に向け、職員の体制づくりと策定委員会への出席等を行うアドバイザー業務

・2022年4月27-28日 ・2022年5月19-20日 ・2022年7月21日

・2022年8月8日 ・2022年10月17-18日 ・2023年2月13-14日

参 考 <http://www.nayoro-shakyo.jp/abou/dai5kitsunagari/>

## -08. 赤井川村地域包括支援センターアドバイザー業務

依頼者 赤井川村地域包括支援センター（医療法人社団白樺会）  
期 間 2022年4月1日～2023年3月31日  
場 所 赤井川村  
内 容 医療法人社団白樺会が運営する、赤井川村地域包括支援センターの各種事業に関するアドバイザー業務を展開  
・2022年5月9日 ・2022年7月4日 ・2022年9月5日  
・2022年12月2日 ・2023年1月26日 ・2023年3月22日  
参 考 <http://shirakaba-group.jp/publics/index/76/>

#### -09. 上砂川町包括的支援事業における各種アドバイザー業務

依頼者 上砂川町地域包括支援センター  
期 間 2022年4月1日～2023年3月31日  
場 所 上砂川町  
内 容 町地域包括支援センターが実施する、地域ケア会議推進事業及びケアサポーター養成事業に関するアドバイザー業務を展開  
・2022年5月11日 ・2022年7月20日 ・2022年8月10日  
・2022年11月30日 ・2022年12月9日 ・2023年3月27日

#### -10. 仁木町包括的支援事業における各種アドバイザー業務

依頼者 仁木町ほけん課（地域包括支援センター）  
期 間 2022年4月1日～2023年3月31日  
場 所 仁木町  
内 容 町地域包括支援センターが実施する、地域支援事業全般に関するアドバイザー業務を展開  
・2022年4月18日 ・2022年4月25日 ・2022年5月23日  
・2022年6月15日 ・2022年7月25日 ・2022年8月5日  
・2022年8月16日 ・2022年9月20日 ・2022年9月26日  
・2022年10月21日 ・2022年11月21日 ・2022年12月19日  
・2022年12月26日 ・2023年1月17日 ・2023年1月23日  
・2023年2月20日 ・2023年2月22日 ・2023年3月20日

#### -11. 歌志内市生活支援体制整備事業アドバイザー業務

依頼者 歌志内市保健福祉課  
期 間 2022年4月1日～2023年3月31日  
場 所 歌志内市  
内 容 市地域包括支援センターが実施する、生活支援体制整備事業に関するアドバイザー業務と生活支援コーディネーターに対するスーパービジョンを展開  
・2022年4月20日 ・2022年5月18日 ・2022年6月22日  
・2022年7月20日 ・2022年8月17日 ・2022年9月21日  
・2022年10月26日 ・2022年11月16日 ・2022年12月21日



・ 2023年 1月24日          ・ 2023年 2月15日          ・ 2023年 3月15日

## -12. 真狩村生活支援体制整備事業アドバイザー事業

依頼者 社会福祉法人真狩村社会福祉協議会

期 間 2022年 4月 1日～2023年 3月31日

場 所 真狩村

内 容 地域支援事業における多様な生活支援・介護予防サービスの充実と真狩村における支え合いの体制づくりに向け、協議体の運営や生活支援コーディネーターに対するアドバイザー業務を展開

・ 2022年 4月22日          ・ 2022年 5月27日          ・ 2022年 6月24日  
・ 2022年 7月22日          ・ 2022年 8月29日          ・ 2022年 9月30日  
・ 2022年10月28日          ・ 2022年11月18日          ・ 2022年12月23日  
・ 2023年 1月27日          ・ 2023年 2月24日          ・ 2023年 3月24日

## -13. 歌志内市地域ケア会議運営アドバイザー業務

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2022年 4月 1日～2023年 3月31日

場 所 歌志内市

内 容 市地域包括支援センターが実施する、地域ケア会議推進事業に関するアドバイザー業務を展開

・ 2022年 5月18日          ・ 2022年 7月20日          ・ 2022年 9月21日  
・ 2022年11月16日          ・ 2023年 1月24日          ・ 2023年 3月15日

## -14. 真狩村地域ケア会議運営アドバイザー事業

依頼者 真狩村住民課

期 間 2022年 4月 1日～2023年 3月31日

場 所 真狩村

内 容 真狩村における地域ケア会議の定着や持続的な会議運営体制の構築を図るためのアドバイザー業務を展開

・ 2022年 4月22日          ・ 2022年 5月27日          ・ 2022年 6月24日  
・ 2022年 7月22日          ・ 2022年 8月29日          ・ 2022年 9月30日  
・ 2022年10月28日          ・ 2022年11月18日          ・ 2022年12月23日  
・ 2023年 1月27日          ・ 2023年 2月24日          ・ 2023年 3月24日

## -15. 余市町地域ケア会議アドバイザー事業

依頼者 余市町真狩村住民課

期 間 2022年 7月 1日～2023年 3月31日

場 所 余市町民生部保険課

内 容 余市町における自立支援型地域ケア会議の定着や持続的な会議運営体制の構築を図るためのアドバイザー業務を展開

- ・ 2022年10月 4日                      ・ 2022年12月27日                      ・ 2023年 1月17日
- ・ 2023年 3月10日                      ・ 2023年 3月13日

## -16. 札幌国際プラザ職員研修

依頼者 公益財団法人札幌国際プラザ

実施日 2022年7月19日

場 所 札幌市

内 容 大規模災害発生時に当財団に設置される「災害多言語支援センター」にて実施される避難所などの巡回に際して、被災者が抱える課題を理解し、アプローチやコミュニケーションにおける注意点について学ぶことを目的に開催された本研修会において、「災害時の相談援助」と題した講演を実施

■打ち合わせ

- ・ 2022年 5月24日                      ・ 2022年 7月19日

## -17. 手稲区災害時支え合い研修会

依頼者 札幌市手稲区保健福祉課

実施日 2022年10月25日～2023年 3月31日

場 所 札幌市

内 容 2015年12月から札幌市が実施している災害時要配慮者名簿情報の提供を推進し、災害時における支援体制を日常的に構築することを目的に手稲区が実施している災害時要配慮者地域支え合い事業の本研修会において、実践している町内会のヒアリングと実践事例集の作成、研修会（ワークショップ形式）の講師を担当

■事前打ち合わせ

- ・ 2022年 11月 22日

■各町内会ヒアリング

- ・ 2022年 11月 30日                      ・ 2022年 12月 12日

■手稲区災害時支え合い研修会

- ・ 2023年 03月 10日

■実践事例集「2022年度要配慮者避難支援実践集取組みの工夫」の作成

参 考 <https://www.city.sapporo.jp/teine/hoken/hokenfukushi/youhairiyosya.html>

## -18. 令和4年度札幌災害外国人支援チームSAFE第3回研修会

依頼者 公益財団法人札幌国際プラザ

実施日 2023年1月21日

場 所 札幌市

内 容 大規模災害発生時、当財団に設置される「災害多言語支援センター」と協力して、災害に関する情報を多言語で翻訳・配信し、避難所などを巡回して外国人被災者の相談に乗るなどの支援を行う、札幌近郊に住む外国籍住民で構成される「札幌災害外国人支援チームSAFE」の研修会において、「災害時の相談援助」と題した講義を担当

■打ち合わせ

- ・ 2023年 1月 6日

## -19. 令和4年度災害多言語支援センター巡回訓練コーディネート業務

依頼者 公益財団法人札幌国際プラザ

実施日 2023年3月17日

場 所 札幌市

内 容 災害発生時に札幌市からの依頼を受けて開設する札幌市災害多言語支援センターの円滑な運営に向け、避難所への巡回支援を想定した訓練の企画調整及び講師を担う

### ③ その他の事業

#### -20. 北海道民生委員児童委員連盟市町村民児協テーマ特化型活性化事業

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

場 所 旭川市

内 容 北海道民児連が実施する、単位民生委員児童委員協議会を対象としたアドバイザー派遣事業において、「災害に備える民児協活動」をテーマにした旭川市末広東地区民児協及び旭川市忠和地区民児協に対し、定期的なアドバイザー業務を展開

##### ■末広東地区民児協

- ・2022年4月7日
- ・2022年5月14日
- ・2022年7月9日
- ・2022年9月10日
- ・2022年9月25日
- ・2022年12月10日
- ・2023年2月11日

##### ■忠和地区民児協

- ・2022年4月7日
- ・2022年12月10日
- ・2023年3月11日

#### -21. 令和4年度新ひだか町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル策定研修

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

場 所 新ひだか町

内 容 災害ボランティアセンターの活動運営指針を取り決め、設置・運営マニュアルの策定を目的に開催された本研修において、策定の進め方について講師を担当

- ・2022年4月26日
- ・2022年6月10日
- ・2022年8月5日
- ・2022年10月13日
- ・2022年2月17日

#### -22. 日高中部通年雇用促進協議会「高校生と働く大人の放課後トーク」

依頼者 日高中部通年雇用促進協議会

実施日 2022年10月12日

場 所 新ひだか町

内 容 当該地域の事業所における人材確保や早期離職、若手人材教育の課題から、新ひだか町及び新冠町内の事業所採用・教育担当者と北海道静内農業高等学校及び北海道静内高等学校の生徒を対象にグループワークを行うことで、事業所の認知度の向上や人材育成方法の手がかりを得て、人材の定着率向上を図る目的で開催されたイベントにおいて、「事業者向けコミュニケーション研修」及び「グループディスカッション」におけるファシリテーターを担当

・2022年6月3日      ・2022年8月9日      ・2022年10月3日

参 考 <http://hidakachubu.jp/>

## -23. 岡山県被災者見守り・相談支援事業に係る市町村支援業務

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会（岡山県くらし復興サポートセンター）

場 所 岡山県岡山市・倉敷市

内 容 岡山県くらし復興サポートセンターが実施する、被災者見守り・相談支援事業実施センター、被災者生活支援従事者研修に関するアドバイザー業務を展開

### ■アドバイザー業務

・2022年7月12-15日      ・2022年8月4日      ・2022年8月11-13日  
・2022年9月13-15日      ・2022年10月4-7日      ・2022年11月3-4日  
・2022年11月24日      ・2022年12月12-14日      ・2023年1月12-13日  
・2023年1月31日      ・2023年2月1-3日      ・2023年3月1-4日

### ■市町村支援業務統括会議

・2022年10月7日      ・2023年1月13日      ・2023年2月3日

### ■執筆等

・くらし復興サポート通信（最終号別冊）  
・災害時のソーシャルワークを学ぶためのコンテンツ

参 考 <http://www.fukushiokayama.or.jp/kurashi1/materials/>

## -24. 令和4年度市町村社協機能強化セミナー

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

場 所 岡山県岡山市

内 容 岡山県社協及び県内市町村社協の中間管理職員を対象にした社協の機能強化を目的としたセミナーの企画及び講師対応を担う。また、参加した市町村社協のうち、6社協を対象とした個別相談会に応じ、機能強化に向けたアドバイザー活動を展開

### ■強化セミナー

・2022年7月8日      ・2022年7月15日

### ■個別相談会

・2022年9月12日 井原市社協、高梁市社協、真庭市社協  
・2022年11月24日 笠岡市社協、新見市社協、津山市社協

### ■打ち合わせ等

・2022年5月11日      ・2022年7月15日

## -25. 上砂川町ふくし座談会

依頼者 上砂川町、社会福祉法人上砂川町社会福祉協議会

場 所 上砂川町

内 容 上砂川町が実施するケアサポーター養成講座の一環とし、地域活動の新たな担い手発掘と育成を目的とした座談会において、座談会の企画調整及びファシリテートを担う

・2022年7月20日      ・2022年8月10日      ・2022年11月30日

・2023年3月27日

## -26. 令和4年度新ひだか町社協第6期地域福祉実践計画評価会議

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

場 所 新ひだか町

内 容 新ひだか町社協が令和4年4月に策定した第6期地域福祉実践計画の評価に向け、評価方法の検討及び視点の定着化に向けた研修会を開催し、研修会の企画調整及び講師を担う

・2022年8月5日      ・2022年12月28日      ・2023年2月17日

■打ち合わせ等

・2022年5月30日      ・2022年6月3日

## -27. 社会福祉法人北海道福心会 BCP 策定研修

依頼者 社会福祉法人北海道福心会（真狩羊蹄園）

場 所 真狩村

内 容 社会福祉法人北海道福心会が運営する高齢者入所施設真狩羊蹄園のBCP（事業継続計画）策定に向け、必要な情報の整理と策定に向けたプロセスを学ぶ研修会の企画調整及び講師を担う

・2022年8月19日      ・2023年2月21日

## -28. 長岡京市とりこぼさない支援を考えるプラットフォーム整備事業

依頼者 長岡京市社会福祉課

場 所 長岡京市

内 容 長岡京市が重層的支援体制整備事業の一環として実施する市内の多様な支援機関・団体及び個人が集うプラットフォームの構築に向け、プラットフォームを構成するコアメンバーとの会議への参加及び交流会の企画調整及びファシリテーターを担う

■コア会議

・2022年10月4日      ・2022年11月28日      ・2023年1月31日

■交流会

・2023年3月7日

■打ち合わせ等

・2022年8月31日      ・2023年1月16日      ・2023年1月27日

・2023年3月6日

参 考 <https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000013707.html>

## -29. 北海道災害時避難行動要支援者個別避難計画作成モデル事業

依頼者 北海道保健福祉部総務課

場 所 道内各所及びオンライン開催

内 容 内閣府「令和4年度個別避難計画作成モデル事業」により実施されている本研修会において、令和3年5月の災害対策基本法の改正により、個別避難計画の作成が市町村の努力義務となり、各市町村で個別避難計画作成の取り組みがより一層推進されるよう開催された

全体研修会の公演の講師及び個別研修会の講師を担当

■全体研修会

・2022年9月29日（オンライン）

■個別研修会

・2022年11月11日 札幌開催  
・2022年11月15日 釧路開催  
・2022年12月2日 札幌（空知地方）開催  
・2022年12月20日 帯広開催  
・2023年1月11日 北見開催  
・2023年1月18日 函館開催  
・2023年1月25日 旭川開催

■打ち合わせ

・2022年7月1日

参 考 <https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/r4modeljigyo.html>

### -30. 北海道災害派遣福祉チーム（DWAT）研修

依頼者 北海道保健福祉部福祉局地域福祉課

場 所 札幌市及びオンライン開催

内 容 福祉専門職等で編成される北海道災害派遣福祉チーム（DWAT）を組成するため、協力法人等から届け出のあったチーム員候補者に対し行われた災害時の福祉支援に関する研修において、研修の企画調整及び講師を担う

■登録研修 2023年2月9日（オンライン）

■リーダー研修 2023年3月9日

### -31. 令和4年度北中城村社協役職員・民生委員児童委員研修会

依頼者 社会福祉法人北中城村社会福祉協議会

実施日 2022年8月20日

場 所 オンライン開催

内 容 北中城村社協役職員と民生委員を対象にあらゆる生活課題への対応ができるよう地域のつながりの再構築の推進に取り組むことを目的に開催された本研修において、「これからの地域づくりを進めるにあたり社会福祉協議会に求められること」と題した講演の講師を担当

■打ち合わせ

・2022年7月28日

### -32. 令和4年度新ひだか町地域防災研修会

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

実施日 2022年9月27日

場 所 新ひだか町

内 容 新ひだか町社協が災害ボランティアセンター設置・運営にかかる協定を結んでいる関係機関及び団体との災害時支援・協力体制について災害が起きた際に協力しあえる連携体制の構築を目的に開催された本研修会において講義及び演習の講師を担当

## ④ 自主事業

### -33. 地域福祉活動計画策定・評価セミナー

主 催 一般社団法人Wellbe Design

共 催 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく

内 容 当法人並びに共催団体の支援を受けて計画の策定を行った（行う予定を含む）社協を対象に、計画の策定方法及び評価方法に関する全2回のセミナーをオンラインで開催

参加者 厚真町、仁木町、新ひだか町、むかわ町、名寄市、吉備中央町、岡山県、恩納村、八重瀬町、北中城村の全10社協

■策定編 2022年8月18日（10社協）

■評価編 2023年9月29日（10社協）

## 2) 地域福祉人材の育成に関する事業

地域福祉を展開するソーシャルワーカーをはじめとする福祉専門職及び地域の多様な支援者育成を目指した研修会のマネジメントや講師対応等、専門職に対する福祉教育実践を行っています。

### ① 委嘱等に基づく事業

#### -01. 札幌市立大学「ボランティア活動を考える」

依頼者 札幌市立大学

場 所 オンライン

内 容 札幌市立大学デザイン学部及び看護学部の共通教育科目として開講される「ボランティア活動を考える」において、非常勤講師を担う

- ・2022年4月5日 オリエンテーション・ボランティアとは何か
- ・2022年4月12日 ボランティアの価値
- ・2022年4月19日 ボランティアと心理
- ・2022年4月26日 ボランティアのあゆみ
- ・2022年5月10日 災害とボランティア
- ・2022年5月17日 生活とボランティア
- ・2022年6月7日 国際社会とボランティア
- ・2022年6月14日 大学生とボランティア
- ・2022年6月21日 まちづくりとボランティア
- ・2022年6月28日 ボランティアの組織化
- ・2022年7月5日 ボランティア活動の支え手
- ・2022年7月12日 ボランティアコーディネーター
- ・2022年7月19日 非営利組織の運営
- ・2022年7月26日 今が旬なボランティア
- ・2022年8月2日 まとめ

参 考 <https://www.scu.ac.jp/>

#### -02. 北海道医療大学看護福祉学部「ソーシャルワーク論Ⅲ」

依頼者 北海道医療大学看護福祉学部

場 所 当別町及びオンライン

内 容 北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科において、非常勤講師を担う

■ソーシャルワーク方法論Ⅱ（第2学年対象）※新カリキュラム

- ・2022年10月27日 コミュニティワークの意義と目的
- ・2022年11月17日 コミュニティワークの展開①
- ・2022年11月29日 コミュニティワークの展開②

■ソーシャルワーク論Ⅲ（第3学年対象）※旧カリキュラム



- ・2022年9月1日 コーディネーション／ネットワーク①・②
- ・2022年9月8日 社会資源の活用・調整・開発①・②
- ・2022年10月27日 ソーシャルアクションによるシステムづくり
- ・2022年10月27日 相談援助におけるICTの活用と実際
- ・2022年11月17日 災害ソーシャルワーク①・②
- ・2022年12月8日 災害ソーシャルワーク③・④
- ・2022年12月15日 災害ソーシャルワーク⑤・⑥
- ・2023年1月19日 相談援助のための交渉の技術／プレゼンテーション
- ・2023年1月19日 予防的対応の意義とサービス開発
- ・2023年1月19日 スーパービジョンとコンサルテーション

参 考 <https://www.hoku-iryo-u.ac.jp/>

### -03. 北海道介護福祉士会 ファーストステップ研修

依頼者 一般社団法人北海道介護福祉士会

実施日 2022年9月18日

場 所 オンライン開催

内 容 基礎的な業務に習熟した介護福祉士を対象に、的確な判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアが実践でき、小規模チームのリーダーや初任者等の指導係として任用することを期待できるレベルの視点や技術を有する職員を養成するため開催された本研修において、全15科目の7科目目「家族や地域支援力の活用と強化」の講師を担当

### -04. 名寄市立大学保健福祉学部「地域福祉論Ⅱ」

依頼者 名寄市立大学保健福祉学部

実施日 2022年11月30日

場 所 オンライン開催

内 容 名寄市立大学保健福祉学部が開講する「地域福祉論Ⅱ」において、「災害ソーシャルワークの目的と展開」をテーマに講義を実施

参 考 <https://www.nayoro.ac.jp/>

### -05. 日本福祉大学福祉経営学部「地域福祉論」

依頼者 日本福祉大学福祉経営学部

実施日 2022年12月5日

場 所 愛知県美浜町

内 容 日本福祉大学福祉経営学部が開講する「地域福祉論」の非常勤講師を担い、オンデマンド授業教材「地域福祉に関わる機関・団体（1）」の収録を行う

参 考 <https://www.n-fukushi.ac.jp/>

### -06. 日本福祉大学履修証明プログラム「災害ソーシャルワークの実践と展開」

依頼者 日本福祉大学福祉経営学部

実施日 2023年1月14-15日

場 所 愛知県名古屋市

内 容 日本福祉大学が 2021 年度に開講した履修証明プログラムの必修科目「被災者支援と福祉  
防災に向けた実践演習」において、非常勤講師を担う

参 考 <https://www.n-fukushi.ac.jp/>

## ② 委託契約等に基づく事業

### -07. 地域福祉活動を担う人材の発掘と育成に関する事業

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2022年 4 月 1 日～2023年 3 月31日

場 所 歌志内市

内 容 歌志内市地域福祉計画に定める「地域活動の人づくり、活動づくり」に係る施策を具現化  
するために開催する「福祉コミュニケーション講座」において、企画マネジメントと講座  
当日の講師対応を実施

・ 2022年12月21日                      ・ 2023年 3 月14日                      ・ 2023年 3 月15日

### -08. 日本福祉大学福祉経営学部「ソーシャルワークと専門職」

依頼者 日本福祉大学福祉経営学部

実施日 2022 年 7 月 16 日

場 所 札幌市

内 容 日本福祉大学通信教育部が開講する「ソーシャルワークと専門職」において、「ソシヤル  
ワークはおもしろい!?「地域」と「ひと」と「わたし」をつくるソシヤルワークの可能性」  
と題した講義を実施

参 考 <https://www.n-fukushi.ac.jp/>

### -09. 日本福祉大学福祉経営学部「地域福祉と災害ソーシャルワーク」

依頼者 日本福祉大学福祉経営学部

場 所 オンライン

内 容 日本福祉大学通信教育部が開講する「地域福祉と災害ソーシャルワーク」において、災害  
ソーシャルワークの方法と展開に関する講義・演習を実施

・ 2022年 8 月27-28日（愛知会場）                      ・ 2022年11月 5 - 6 日（大阪会場）

参 考 <https://www.n-fukushi.ac.jp/>

## ③ 協働事業

### -10. 色彩療法士上級研修（ファシリテーション編）

場 所 札幌市

実施日 2022 年 10 月 16 日

内 容 一般社団法人日本色彩療法士協会（外崎由香 代表）が開講する色彩療法士上級研修におい

て、ファシリテーション力の向上を目指した研修の講師として協力

#### ④ その他の事業

##### -11. 日本福祉大学社会福祉学部「コミュニケーション力演習」

依頼者 日本福祉大学社会福祉学部

実施日 2022年4月21日

場 所 オンライン

内 容 日本福祉大学社会福祉学部が開講する「コミュニケーション力演習」で活用するオンデマンド教材を作成

参 考 <https://www.n-fukushi.ac.jp/>

##### -12. コミュニティソーシャルワーク研修（試行版）

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

場 所 岡山県岡山市

内 容 2023年度からの市町村社協職員向け研修に向けた試行研修として、本県社協職員、県内市町村社協職員、県内福祉系大学学識者などを対象に行われた本研修において、講義及び演習などを担当。社協の歴史や社会福祉法上の位置づけ、社協職員として理解しておく知識・活動原則などの内容の共通研修と、社協組織として、個と地域の一体的支援の展開を図るために必要な知識などの内容の基礎研修を実施

■共通研修（社協の歴史や法律、活動原則などの理解） 2022年5月16日

■基礎研修（コミュニティソーシャルワークの実践理解） 2022年6月6日

■ふりかえり会議 2022年6月9日

##### -13. 令和4年度全道民児協会長・副会長研究協議会

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2022年6月7-8日

場 所 札幌市

内 容 民生委員児童委員活動の現状と今日的課題を捉え、活動の要である民児協運営の課題解決方法などについて研究協議する場において、分科会のワークショップ「支え合う定例会づくりに向けて」の講師を担当

##### -14. 日本福祉大学社会福祉学部「総合演習」

依頼者 日本福祉大学社会福祉学部（1年生）

実施日 2022年6月23日

場 所 オンライン

内 容 日本福祉大学社会福祉学部が1年生を対象に開講するゼミ科目「総合演習」において、「災害支援とまちづくり」をテーマにした講義を実施

参 考 <https://www.n-fukushi.ac.jp/>

#### -15. 後志管内民生委員児童委員専門研修

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2022年7月26日

場 所 岩内町

内 容 多様化するニーズに対応するため民生委員児童委員の活動を進めるうえで必要な知識や技術を習得することを目的に開催された本研修において、全体講義「コロナ禍におけるコミュニケーションのあり方について」、分散研修「相談支援の進め方」をテーマに講師を担当

#### -16. 日本薬剤師研修センター認定講座オンデマンド収録

依頼者 特定非営利活動法人医療教育研究所

実施日 2022年8月31日

場 所 札幌市

内 容 公益財団法人日本薬剤師研修センターの認定を受け実施しているe-ラーニング研修において「地域包括ケアシステム実現に向けた地域ケア会議の役割と機能」をテーマとし、配信される講義を収録

■打ち合わせ

・2022年8月15日

#### -17. 知多市社会福祉協議会役職員研修会

依頼者 社会福祉法人知多市社会福祉協議会

実施日 2022年9月2日

場 所 愛知県知多市

内 容 知多市社協役職員に対し、社会福祉協議会の組織、歴史的背景、求められる機能を理解することで法人内外の連携を更に強化することを目的に開催された本研修において、「社協の組織と社協の機能」と題した講義の講師を担当

#### -18. 島根県民生委員児童委員大学

依頼者 島根県民生児童委員協議会

実施日 2022年9月7日

場 所 島根県浜田市

内 容 県内の民生委員児童委員を対象に災害時における民生委員児童委員の役割を理解し、災害に備えた平常時の取組みや住民・関係機関。団体とどのように連携するか学び考えることを目的に開催された本大学において、「災害に備えた民生委員・児童委員活動～委員としての取り組みと協議会としての取り組みを考える～」をテーマとした講義及び演習の講師を担当

#### -19. 日本福祉大学潜在看護職等を対象とした災害対応研修会

依頼者 日本福祉大学看護学部

実施日 2022年9月9日

場 所 札幌市

内 容 看護職等の専門職を対象とし、災害時に専門職者としてできることを学ぶ機会として開催された本研修会において、アドバンスコース第4回「災害時の避難行動の支援」の講義・オンデマンド教材を収録

## -20. 住民支え合いマップ研究協議会

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2022年9月28日

場 所 札幌市

内 容 第3次北海道民生委員児童委員強化方針において重点推進事業として展開している住民支え合いマップについて、これからの取り組みのあり方や可能性を模索することを目的に開催された当協議会において、実践報告「住民支え合いマップを軸とした班活動の実践」の聞き手及びワークショップ「住民支え合いマップと民生委員児童委員活動のこれからを考える」のファシリテーターを担当

## -21. 島根県民生委員児童委員大学 DVD 作成

依頼者 島根県民生児童委員協議会

実施日 2022年10月15日

内 容 2022年9月6日に予定していた島根県民生委員児童委員大学松江会場の開催が荒天により中止となったことを受け、参加予定の民生委員児童委員向けに視聴覚教材を作成

## -22. 中堅民生委員児童委員教室 in あさひかわ

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2022年10月31日-11月1日

場 所 旭川市

内 容 民生委員児童委員協議会における次代のリーダー育成を目的とした中堅教室のプログラムのあり方を模索し、体系化を図ることを目的に実施された本教室において講義及び演習の講師を担当

## -23. 倉敷市社会福祉協議会職員研修会

依頼者 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会

実施日 2023年1月9日

場 所 オンライン

内 容 福祉専門職として、複雑多様化する地域課題や個々の生活課題等に対する解決力を高められるよう開催された職員研修において、「重層の支援体制整備事業と市町村社会福祉協議会について」をテーマに講師を担当

## -24. 生活支援コーディネータースキルアップ研修

依頼者 社会福祉法人長岡京市社会福祉協議会

実施日 2023年1月30日

場 所 長岡京市

内 容 生活支援コーディネーターと関係者が共に学ぶことで共通認識をもち、地域ケア推進会議・第2層協議体の開催や地域での取り組みに活かすことを目的に、きずなグループ職員、市内地域包括センター、関係行政を対象に開催された本研修において、講義及びグループワーク等の講師を担当

#### **-25. 福祉教育研修 福祉共育を考える会**

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

実施日 2023年2月3日

場 所 岡山県吉備中央町

内 容 岡山県社協の多機関協働による福祉教育プログラム企画支援事業におけるアドバイザーとして、吉備中央町社協の本研修に対し、「日々の業務の中にある福祉教育実践」をテーマに講義及びグループワークのファシリテーターを担当

#### **-26. コミュニティワークの方法、手法としてのボランティア・福祉教育のあり方研修**

依頼者 社会福祉法人知多市社会福祉協議会

実施日 2023年2月7日

場 所 愛知県知多市

内 容 知多市社協職員及び近隣社協職員を対象に、「福祉教育」と「ボランティア」について、これまでの歴史的実践をひも解きながら、コミュニティワークの方法、手段でもあることを学ぶことを目的に開催された研修会において講師を担当

#### **-27. 愛知県内市区町村社協職員研究集会**

依頼者 社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

実施日 2023年2月8日

場 所 愛知県

内 容 愛知県内の社協職員を対象に、社協の現状や課題を共有し、地域共生社会の実現に向けた仕組みづくりにおいて、社協の強みや弱み、役割について学びを深め活動に活かす目的で開催された本研究集会において、シンポジウム「地域共生社会の実現に向けて～地域にとってなくてはならない存在となるために～」におけるコメンテーター、第3分科会「災害支援から考える、社協の役割」における講師を担当

#### **-28. 真狩村民生委員児童委員協議会研修**

依頼者 真狩村民生委員児童委員協議会

実施日 2023年2月24日

場 所 真狩村

内 容 真狩村の民生委員・児童委員と事務局を担う行政職員を対象とし、「民生委員の歴史と活動と法律と」をテーマに講師を担当

#### **-29. 日常生活自立支援事業専門員オンライン研修会**

依頼者 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会福祉サービス利用支援センター

実施日 2023年2月27日

場 所 オンライン

内 容 市町村社協日常生活自立支援事業専門員及び担当職員、社協職員を対象に、権利擁護に取り組む意義や利用者の自己決定の尊重と利用者自身を支える支援の在り方について学ぶことなどを目的に開催された本研修会において、実践報告の助言者及び、「利用者の利益の保護を目指した社協らしい実践に向けて」をテーマとした講話・演習の講師を担当

■打ち合わせ

・2023年2月28日

### -30. 災害 VC 体制整備事業～災害×福祉共育～

依頼者 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会

実施日 2023年3月1日

場 所 岡山県吉備中央町

内 容 岡山県社協の多機関協働による福祉教育プログラム企画支援事業におけるアドバイザーとして、吉備中央町社協の本研修に対し、「私たち専門職に必要な災害に関する知識とは」をテーマに講義及び全体ワークのファシリテーターを担当

### -31. 2022 年度スカラシップ学生特別研修

依頼者 日本福祉大学社会福祉学部

実施日 2023年3月6日

場 所 愛知県美浜市

内 容 日本福祉大学のスカラシップ学生に対し、社会におけるリーダーとなり、社会変革に向けて力を発揮することができるよう知見を広げるとともに、必要なスキルを身につける特別研修において、「チームビルディングの理論と実践」をテーマに講義及び演習を担当

## ⑤ 自主事業

### -32. 市区町村社協職員基礎講座

主 催 一般社団法人Wellbe Design

内 容 社会福祉協議会に勤務して3年以下の方を対象に、社会福祉協議会の基本的な理解と今日的に求められている役割を中心とした内容の講座を開催

参加者 延べ178名（任意参加のふりかえり会を除く）

|             |                    |        |
|-------------|--------------------|--------|
| ・2022年5月2日  | 第1回：社協のなりたちとあゆみ    | 参加者30名 |
| ・2022年5月16日 | 第2回：社協活動の基本的なすすめ方  | 参加者35名 |
| ・2022年5月30日 | 第3回：社協活動に必要なスキル    | 参加者39名 |
| ・2022年6月13日 | 第4回：今、社協に求められていること | 参加者38名 |
| ・2022年6月27日 | 第5回：社協の組織と社協の機能    | 参加者36名 |
| ・2022年7月11日 | ふりかえり会（任意参加）       | 参加者15名 |

### 3) 地域福祉活動の推進に関する事業

広く地社会福祉活動の実践や捉え方を普及し、社会に対する地域福祉啓発や地域福祉活動の推進に係る諸活動を行っています。

#### ① ご依頼に基づく事業

##### -01. 地域コーディネーター・安心見守り事業関係者等スキルアップ研修会

依頼者 旭川市市民委員会連絡協議会、旭川市民生委員児童委員連絡協議会、社会福祉法人旭川市社会福祉協議会

期 間 2022年6月14日

場 所 旭川市

内 容 地区市民委員会、地区社協関係者、民生委員児童委員、地域コーディネーター等を対象に、災害に備えて平時からどのような「つながりづくり」や「対応」ができるかを考え住民が安心して住み続けることが出来る地域となることを目的とした本研修会において、「災害に備え顔の見える地域の見守り体制づくり」と題した講演の講師を担当

##### -02. 災害ボランティア講座

依頼者 社会福祉法人小樽市社会福祉協議会

期 間 2022年7月5日

場 所 小樽市

内 容 災害発生時に災害ボランティアセンターに関わることが予想される市内のボランティア団体などを対象に、災害ボランティアのスキルアップを図り実践につなげる学びを深めるために開催された本講座において、「より実践的な学びのために」と題した講座の講師を担当

##### -03. これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度 in 北海道

依頼者 NPO 法人いわて連携復興センター

場 所 札幌市

実施日 2022年7月23日

内 容 胆振東部地震における地域特有の環境や仕組みに対し、法律家の視点も踏まえどのような被災者支援制度が必要なのか考えることを目的に行われた本シンポジウムにおいて、災害支援現場で活動する実践者としてパネルディスカッションも含め登壇

##### -04. 災害ボランティアコーディネータースキルアップ講座

依頼者 社会福祉法人知多市社会福祉協議会

場 所 愛知県知多市

実施日 2022年9月3日

内 容 災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者、生活支援コーディネーター、投資社協職員に対し、新たな組織との連携、柔軟な運営のあり方を知り、災害支援・災害への備



え等の幅広い視点を養う機会として開催された本研修において講義の講師を担当

#### -05. 新ひだか町小地域ネットワーク専門講座（第1講）

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

場 所 新ひだか町

実施日 2022年9月27日

内 容 行政職員、民生委員児童委員、支え合い会員や地域づくりに関心のある人などを対象に、現在実践している活動を発展させていくために協議や協働できる場として開催された本研修において、「地域福祉ガバナンス～みんなでつくる福祉コミュニティ～」と題した講義の講師を担当

#### -06. 新ひだか町小地域ネットワーク専門講座（第2講）

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

実施日 2022年10月13日

場 所 新ひだか町

内 容 行政職員、福祉サービス事業所職員、社協役職員、災害協定締結団体を対象に他町の活動報告等から「災害に強い福祉コミュニティ」づくりについて考える本講座において、研修の導入における講義「誰一人取り残さない防災をすすめるために～みんなでつくる福祉コミュニティ～」の講師を担当

#### -07. 上砂川町第2回ケアサポーター養成講座

依頼者 社会福祉法人上砂川町社会福祉協議会

実施日 2022年12月9日

場 所 上砂川町

内 容 様々な地域活動などの会場設営や運営のお手伝い、日常生活の支援を行っているケアサポーターのスキルアップなどを目的に開催された本講座において「ボランティア活動のすすめ」をテーマに講師を担当

#### -08. 災害に強い地域づくり研修会

依頼者 社会福祉法人士別市社会福祉協議会

実施日 2023年2月12日

場 所 士別市

内 容 市内自治会員を対象に、雪害時の具体的な心構えや対応等について「普段から地域で出来ること」を考える場として開催された本研修会において「冬の災害に備えた地域の支え合い」をテーマに講師を担当

#### -09. あんしんとなり組・災害時要援護者支援事業研修会

依頼者 社会福祉法人知多市社会福祉協議会

実施日 2023年3月5日

場 所 知多市

内 容 自治会関係者や民生委員児童委員、福祉事業所職員等を対象に、本事業の推進するために自治組織のあり方、平常時の住民支え合いのあり方、災害時の誰一人取り残さない防災の実現を目指し、先進地の事例などをもとに学ぶことを目的として行われた本研修において、「避難行動支援について考える～日常生活から切り離さない具体的な支援のあり方について～」と題した講演の講師を担当

## ② 自主事業

### -10. 福祉デザイナー養成講座「社会福祉協議会を知れる講座」

主 催 一般社団法人 Wellbe Design

実施日 2022年11月9日

場 所 オンライン

内 容 行政職員、地域包括支援センター職員、NPO等を対象に「社会福祉協議会」の本来の組織活動や本来の機能を知り地域資源として連携のヒントを学ぶ内容の講座を開催。

参加者 19名

### -11. 福祉デザイナー養成講座「民生委員児童委員を知れる講座」

主 催 一般社団法人 Wellbe Design

協 力 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2022年11月22日

場 所 オンライン

内 容 行政職員、地域包括支援センター職員、NPO等を対象に民生委員児童委員の歴史と活動と機能を知り地域資源として連携のヒントを学ぶ内容の講座を開催。公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟馬川氏より「民生委員児童委員を知れるおはなし」をテーマに講話協力いただく

参加者 25名

### -12. 市民ボランティア講座「市民ポッチャ交流大会」【協賛】

依頼者 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会

実施日 2022年11月26日

場 所 名寄市

内 容 同法人が開催する第2回市民ボランティア講座「第5回市民ポッチャ交流大会」に際し、第1位から第3位までのチームに対するメダルを協賛

## 4) 研究活動への支援等に関する事業

地域福祉実践や人材育成等に関わる様々な調査研究を行うとともに、ご依頼に基づき調査の集計及び分析業務や研究活動の支援を行っています。

### ① 委嘱等に基づく事業 研究活動への参画

#### -01. 日本福祉教育・ボランティア学習学会

期 間 2019年11月～2022年10月 / 2022年11月～2025年10月

内 容 上記期間、同学会の特任理事として、当法人篠原理事長が広報・アーカイブ委員会に、佐藤専務理事が事務局参与として参画

■第28回こうべ大会 ・2022年11月26-27日

■広報・アーカイブ委員会 ・2023年2月9日 ・2023年3月23日

■特任理事会 ・2022年9月11日

参 考 <https://jaass.jp/>

#### -02. 日本地域福祉学会

期 間 2020年7月～2023年6月

内 容 上記期間、同学会の地方部会委員として、当法人篠原理事長が参画

■第36回福岡大会・地方部会 ・2023年6月11-12日

■地方部会懇談会 ・2023年3月3日

参 考 <http://jracd.jp/>

### ② 委託に基づく事業

#### -03. 令和4年度コロナ禍における活動実態調査

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 コロナ禍における民生委員児童委員活動の実態およびその変化を把握し、全道的な情報共有ならびに今後の支援体制の構築、およびこれからの事業再編の基礎資料とすることを目的として実施した本調査において、調査票の集計及び分析、調査報告書の執筆を実施

参 考 <http://dominjiren.jp/deta.php>

### ③ 学会活動等

#### -04. 第15回日本在宅薬学会学術大会

依頼者 一般社団法人日本在宅薬学会

期 間 2022年7月17日

場 所 札幌市

内 容 「Pharmacists, be Ambitious～在宅薬学の再定義～」をテーマに開催された当大会において、「もう怖くないケア会議」と題したシンポジウムにおいて、「地域ケア会議の役割と機能」をテーマに講演を担当

#### -05. 市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会（分科会B2）

依頼者 認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

実施日 2022年12月18日

場 所 オンライン

内 容 多様化するコーディネーション場面において求められるコーディネーターの役割を確認するとともに、被災者支援のためのコーディネーションにおいて大切にしたい視点と達成すべきゴールイメージを共有することを目的に行われた分科会「“被災者支援とは何か”を、コーディネーションの視点から考える～目の前のことへの対応と先を見据えた一貫性のある支援～」において、「平成30年北海道胆振東部地震における被災者支援のためのボランティアコーディネーション」をテーマに実践報告及びコメンテーターを担当

■打ち合わせ

・2022年11月14日

### ④ その他の事業

#### -06. インタビュー調査の協力

実施日 2022年7月17日

内 容 日本福祉大学社会福祉学部助教菊池遼氏が公益財団法人三菱財団の研究助成を受けて実施する「災害時に支援のミスマッチを解消するための調査研究」について、当法人篠原理事長が半構造化インタビューに協力

参 考 [https://researchmap.jp/ryokikuchi13/research\\_projects](https://researchmap.jp/ryokikuchi13/research_projects)

#### -07. 3.11 から未来の災害復興制度を提案する会

実施日 2022年7月23日

内 容 同会が札幌市内で実施した「これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度 in 北海道」において、当法人篠原理事長が北海道の支援現場から見えた課題を提起

参 考 <https://311kaerukai.net/>

#### -08. 北海道大学公共政策大学院

内 容 同大学院生が行う研究活動への協力

・2022年9月16日 ヒアリングの受入れ

・2023年3月6日 ヒアリングの受入れ

#### -09. どさんこコロ

内 容 精神科病院に入院中の方々の権利擁護活動を行う団体として設立した同会からの依頼を受け、以下の業務を実施

・2022年9月1日～2023年3月31日 ウェブサイト構築および運営管理業務

・2022年10月29日 設立集会におけるフライヤー作成およびオンライン配信業務

参 考 <https://dosanko-koro.net/>

#### **-10. 調査票入力業務**

・2023年1月12日～1月23日 調査票100枚 N大学

#### **-11. インタビュー動画データ文字起こし**

・2023年1月16日～2月15日 合計186分00秒 N大学

## 5) 地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業

関係する各地域の地域実践をまとめ、広く社会に発信するためのツール開発を行っています。

### ① 執筆

#### -01. 「アンテナ道民児連 No.215 (令和4年度1号)」への寄稿

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

内 容 同連盟が発行する会報誌に「災害対策基本法の改正と民生委員児童委員活動」と題した特別寄稿を執筆

### ② 啓発ツールの作成

#### -02. どさんこコロ設立集会「知って欲しい精神科アドボケイトのこと」

依頼者 認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター／どさんこコロ

発行日 2022年9月

内 容 北海道において精神科アドボケイト活動を行う団体「どさんこコロ」の設立集会のフライヤーを作成

#### -03. どさんこコロ「電話相談員養成講座」

依頼者 認定 NPO 法人大阪精神医療人権センター／どさんこコロ

発行日 2023年3月

内 容 北海道において精神科アドボケイト活動を行う団体「どさんこコロ」が開催する電話相談員養成講座のフライヤーを作成

### ③ Web サイトの運営管理等

#### -04. 一般社団法人 Wellbe Design 広報事業 【自主事業】

1) ホームページ <http://www.wellbedesign.net>

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 2012年度より継続して実施

2) facebook 一般社団法人 Wellbe Design

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 2012年度より継続して実施

3) Instagram wellbedesign

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 2017年度より継続して実施

4) facebook Nyarube Design

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 2017年度より継続して実施

**-05. 北海道地域福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】**

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施

参 考 <https://hacd.jp/>

**-06. 北海道社会福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】**

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施

参 考 <https://hssw.jp/>

**-07. 社会福祉法人登別市社会福祉協議会ホームページ運営管理 【受託業務】**

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を2016年度より継続して実施

参 考 <https://kizuna-shakyo.jp/>

**-08. 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows ホームページ運営管理**

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を2010年度より継続して実施

参 考 <https://facili.jp/>

**-09. 新ひだか町社協 福祉のひと・しごと・活動発信事業**

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

場 所 新ひだか町及びオンライン

内 容 福祉専門職の人材確保に向けた広域的な情報を発信し、地域共生社会の実現に向けた福祉啓発を目的とした事業において、福祉分野の専門職の仕事や職場での様子を紹介する動画制作（新規2本）と掲載するWEBサイトの作成を2021年度より継続して実施

参 考 <https://shinhidaka-shakyo.or.jp/>

**-10. どさんこコロホームページ作成**

依頼者 どさんこコロ

発行日 2023年3月

内 容 北海道において精神科アドボケイト活動を行う団体「どさんこコロ」のホームページを作成

## 6) 各種団体に対する事務局等の支援に関する事業

学会や企業の社会貢献活動を行う任意団体の事務局支援を通し、幅の広い地域福祉の推進を担っています。

### -01. 北海道地域福祉学会事務局業務【受託事業】

依頼者 北海道地域福祉学会

期間 2022年4月1日～2023年3月31日

内容 2012年6月1日より、学会組織運営管理、各種事業の進捗管理、調査・企画・広報活動等を実施

#### ■役員会等

- ・2022年4月21日 第1回理事会
- ・2022年6月8日 第2回理事会
- ・2022年7月27日 監査
- ・2022年8月2日 定期総会
- ・2022年10月5日 第3回理事会
- ・2023年2月1日 第4回理事会

#### ■研究活動等

- ・2022年8月2日 第1回定例研究会
- ・2022年11月20日 全道研究大会
- ・2023年3月14日 第2回定例研究会

#### ■委員会等

- ・2022年5月2日 研究活動委員会
- ・2022年10月4日 第5回地域福祉優秀実践賞選考委員会
- ・2023年1月26日 研究活動委員会

#### ■広報活動等

- ・2022年7月1日 学会ニュースNo.62発行
- ・2022年10月17日 学会ニュースNo.63発行
- ・2023年2月14日 学会ニュースNo.64発行

#### ■北海道地域福祉研究第26巻の発行

参考 <https://hacd.jp/>

### -02. 日本社会福祉学会北海道地域ブロック事務業務【受託事業】

依頼者 日本社会福祉学会北海道地域ブロック

期間 2022年4月1日～2023年3月31日

内容 2013年4月1日より、学会HP管理業務、北海道社会福祉学会ニュースの発送業務等を実施

参考 <https://hssw.jp/>

### -03. 子どもアイディアコンテストの企画協力に関する業務【受託事業】



内 容 本田技研工業株式会社の社会貢献活動として実施されている「子どもアイデアコンテスト」に関する企画協力について、2018年度より村川雅弘氏（甲南女子大学教授）等のプロジェクトチームと協働した事業運営を実施

- ・ 2022年4月29日
- ・ 2023年5月21日
- ・ 2023年5月29日
- ・ 2023年9月23日
- ・ 2022年11月11日
- ・ 2022年12月10日
- ・ 2023年2月23日
- ・ 2022年12月10日：第20回子どもアイデアコンテスト最終審査会

参 考 <https://www.honda.co.jp/philanthropy/ideacontest/>

#### -04. Web 博物館（コラボミュージアム City）の企画協力に関する業務【受託事業】

内 容 株式会社ジェイアール四国コミュニケーションウェアの社会貢献活動として実施されている「Web 博物館コラボミュージアム City」と「コラボミュージアム City 作品づくりコンテスト」に関する企画協力について、2018年度より村川雅弘氏（甲南女子大学教授）等のプロジェクトチームと協働した事業運営を実施

参 考 <https://www.cm-city.org/>

#### -05. 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows 事務局支援業務

依頼者 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

場 所 札幌市、千歳市

内 容 2012年6月1日より、同法人の事務局業務及び千歳市市民評価会議のアドバイザー対応などを実施

##### ■会務の運営

- ・ 2022年4月26日
- ・ 2022年7月5日
- ・ 2022年8月9日
- ・ 2022年12月28日
- ・ 2023年2月10日
- ・ 2023年2月19日
- ・ 2023年3月11日

##### ■千歳市市民評価会議

- ・ 2022年4月19日
- ・ 2022年6月20日
- ・ 2022年6月23日
- ・ 2022年6月27日
- ・ 2022年6月30日
- ・ 2022年7月4日
- ・ 2022年7月7日
- ・ 2022年7月11日
- ・ 2023年2月16日

##### ■生活支援コーディネーター等のためのファシリテーター養成講座

- ・ 2022年6月17日（講座）
- ・ 2022年8月31日（交流会）

参 考 <https://facili.jp/>

#### -06. 北海道の福祉教育とボランティア学習を学び合う会 事務局支援業務

依頼者 北海道の福祉教育とボランティア学習を学び合う会

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

場 所 札幌市

内 容 道内の福祉教育・ボランティア学習の学び合いの機会創出と、福祉教育を推進していくためのネットワーク形成、共同実施のできるプラットフォームの構築を目的に組織されている

る当会において、事務局業務などを実施

■研修会（当法人共催）

第1回目セミナー「福祉教育とは何か～共に生きること、共に学び合うこと～」

・2022年10月19日～20日（ハイブリット開催） 参加者20名

第2回目セミナー「福祉教育の実践と事例～福祉教育が育む共生社会～」

・2022年12月15日～16日（ハイブリッド開催） 参加者22名

■打ち合わせ等

・2022年6月15日

・2022年6月28日

・2022年9月4日

・2022年9月11日

・2022年9月18日

・2022年12月8日

## -07. 第23回民生委員児童委員活動推進講座（札幌会場）における事業運営

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2022年8月30日

場 所 札幌市及びオンライン

内 容 「社会福祉協議会との協働」をテーマとし、ウィズコロナも含めた関係機関・団体との連携のあり方を考えることを目的に、ハイブリッド形式で開催された本講座において、オンライン配信などの事業運営を担当

## -08. どさんこコロ事務局支援業務

依頼者 認定NPO 法人大阪精神医療人権センター／どさんこコロ

実施日 2022年10月29日

場 所 札幌市

内 容 北海道において精神科アドボケイト活動を行う団体「どさんこコロ」の設立集会において、オンライン配信業務を担当

## 7) その他の事業

災害被災者・被災地への支援活動や各種研修会への参加、各種団体とのネットワークの構築活動などを行っています。

### ① 災害発生時における被災者・被災地支援活動

#### -01. 平成 30 年北海道胆振東部地震被災者支援事業

期 間 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 2018年9月6日に発生した、北海道胆振東部地震の被害により影響を受けた住民への支援や支援機関への支援を実施

■思い出の品（写真等）の洗浄・修繕活動「Omoidori Project」

・ 2022年4月1日～2023年3月31日

■心身のケア活動「北海道足湯隊」

・ 2022年11月20日

#### -02. 令和 4 年 8 月豪雨災害 秋田県内災害ボランティアセンター運営支援

期 間 2022年8月19日～2022年8月26日

内 容 社会福祉法人中央共同募金会が設置する「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」からの要請を受け、秋田県社協及び五城目町社協が設置する災害ボランティアセンターへの支援を実施

・ 2022年8月29日 Web会議

参 考 <https://shienp.net/>

### ② 平時における被災者・被災地支援活動の構築に関する活動

#### -03. 災害ボランティアセンター運営支援者フォローアップ研修

期 間 2022年6月1日～2022年6月2日

内 容 社会福祉法人中央共同募金会が設置する「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」からの要請を受け、「定量的・論理的な視点をベースにした見立てと支援～平成 30 年北海道胆振東部地震の道域支援から」をテーマにした研修を担当

参 考 <https://shienp.net/>

#### -04. 「北の国災害サポートチーム」への参加と運営協力

実施日 2022年4月1日～2023年3月31日

内 容 2019年10月に設立した北海道の災害中間支援組織「北の国災害サポートチーム」の幹事団体としてとして参画し、篠原理事長が代表を務め、一年を通し多様な主体間の連携による被災者支援の円滑な展開に向けたネットワーキングを展開

(1) 北海道内の災害時における活動

①NPO 等民間団体・行政・社会福祉協議会の情報共有の場づくり

②道内外の NPO 等民間団体同士の連携調整

③NPO 等民間団体の活動サポート

■NPO ファンドとの連携（平成 30 年北海道胆振東部地震の支援活動情報提供等）

- ・ 2022年 4月13日           ・ 2022年 5月25日           ・ 2022年 6月20日
- ・ 2022年 8月 1日           ・ 2022年 8月22日           ・ 2022年10月11日
- ・ 2022年12月27日           ・ 2023年 2月10日

(2) 北海道外の災害時における活動

①培った経験を道外につなげる活動（道外支援）

■8月18日：令和4年8月3日から大雨及び台風8号による災害についての情報共有会議への参加

②道内外の被災地をつなぐ活動（恩送り）

(3) 平時における活動

①三者連携の構築・促進のための体制構築

<全国災害ボランティア活動支援団体ネットワーク（JVOAD）との連携・協力>

■休眠預金事業にかかる進捗報告を含めた各種打合せ

- ・ 2022年 4月 6日           ・ 2022年 5月18日           ・ 2022年 6月 8日
- ・ 2022年 7月 6日           ・ 2022年 7月27日           ・ 2022年 8月10日
- ・ 2022年 9月 7日           ・ 2022年10月 5日           ・ 2022年11月 9日
- ・ 2022年12月 6日           ・ 2022年12月19日           ・ 2023年 1月11日
- ・ 2023年 2月 8日           ・ 2023年 2月28日           ・ 2023年 3月 8日

■休眠預金事業実行団体との意見交換

- ・ 2022年 6月 9日

■全国フォーラムへの登壇

- ・ 2023年 5月12-13日   ・ 2023年 2月28日           ・ 2023年 3月 8日
- （打ち合せ等）   ・ 2022年 4月20日           ・ 2022年 4月21日
- ・ 2022年 5月 6日           ・ 2022年 5月11日

■災害中間支援組織全体会への参画

- ・ 2022年 8月 8日           ・ 2023年 2月22日           ・ 2023年 3月27日

■人材育成研修のカリキュラムについての検討会議

- ・ 2023年 1月17日

<他地域の災害中間支援組織との連携>

■令和4年度多様な主体間における連携促進のための研修会（佐賀県）

- ・ 2023年 2月 6日           ・ 2023年 1月26日（打ち合わせ）

<NPO 等との関係構築>

■協力会員の拡大と交流促進

- ・ 2022年 5月26日（JVOAD全国フォーラム復習会）

・2022年11月21日          ・2023年1月25日

■国民生活産業・消費者団体連合会との連携

- ・北海道生団連発足会：2022年7月22日
- ・北海道生団連担当者との打ち合わせ：2022年12月8日
- ・新・災害対策委員会：2022年10月26日、2023年3月2日
- ・新・災害対策委員会第2回勉強会：2023年1月20日

■協同組合ネット北海道との連携

- ・協同組合ネット北海道勉強会（講師）：2022年7月14日
- ・オンライン公開講演：2023年2月24日

■日本青年会議所北海道地区協議会との連携

- ・担当者打ち合わせ：2023年2月4日
- ・JCフェスティバル：2022年5月22日

■札幌弁護士会との連携

- ・意見交換会：2023年2月9日

■コープさっぽろとの連携

- ・理事学習会「災害シミュレーションワークショップ」：2022年10月8日
- ・打ち合わせ：2022年10月5日

■ひがし北海道市民防災サポートとの連携

- ・釧路の災害を考えるナイトミーティング2022・秋：2022年11月22日

<その他 NPO 等が主催する研修等への参加>

- ・北海道NPO総合戦略策定キックオフ会議：2022年6月10日
- ・道内避難者心のケア事業「被災・避難者への長期的支援のあり方を検討する情報共有ミーティング」：2023年1月24日

<行政・社協との関係構築>

■コア（北海道・北海道社協との三者連携）会議の開催

- ・2022年4月14日          ・2022年5月24日          ・2022年7月1日
- ・2022年9月1日

■道庁および道社協事業への協力等

- ・災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会：2022年6月13日
- ・災害ボランティアセンター初期支援者養成・資質向上研修会：2023年1月23日
- ・北海道災害ボランティアセンターWeb講座：2022年7月28日、2022年8月2日、2022年8月22日
- ・災害ボランティアネットワーク会議：2022年7月6日

■行政・社協からの依頼に基づく連携構築

- ・災害ボランティア組織連携会議への動画提供および現地会議への参加協力  
上川地区：2022年10月25日          根室地区：2022年11月17日  
釧路地区：2022年11月22日          石狩地区：2022年12月8日  
胆振地区：2022年12月9日          打ち合わせ：2022年5月26日
- ・浦幌町災害ボランティアセンター設立に係る災害ボランティア実体験講話等研修会：11月8日

## ②災害支援従事者への研修活動

### <研修会の実施>

#### ■被災者支援の多様な視点を学ぶきたサポ研修会

- ・第9回「災害ボランティア技術系研修会」：2022年6月18-19日  
打ち合わせ：2022年6月1日、2022年6月14日
- ・第10回「技術系研修会 in 旭川」：2022年10月7日  
打ち合わせ：2022年7月27日
- ・第11回「技術系研修会 in 函館」：2022年10月15日  
打ち合わせ：2022年10月13日
- ・第12回「外国人支援の視点を学ぼう」：2023年3月9日  
打ち合わせ：2023年1月5日、1月19日、1月26日
- ・第13回「支援活動の質を大きく左右する“男女共同参画”の視点」：2023年3月14日  
打ち合わせ：2023年2月17日
- ・第14回「ペットへの災害支援」：2023年3月23日  
打ち合わせ：2023年3月2日

## ③調査研究・政策提言

### <アーカイブ「平成30年北海道胆振東部地震情報共有会議の記録」の活用>

- ・休眠預金活用事業外部評価：2022年12月6日

### <調査>

- ・休眠預金活用事業の成果にかかる外部評価：2022年12月6日

## ④被災者支援のあり方に関する普及・啓発

### <北海道フォーラムの開催>

#### ■第3回これからの災害支援を考える北海道フォーラム「地域特性を踏まえた災害支援の構築をめざして」：2022年10月24日開催

- |          |              |              |
|----------|--------------|--------------|
| (打ち合わせ等) | ・2022年8月17日  | ・2022年10月3日  |
|          | ・2022年10月17日 | ・2022年10月19日 |

## (4) 災害に関わる団体の運営又は活動に関する連絡、助言又はサポートの活動

### ①役員会

#### <幹事会の開催>

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| ・2022年4月20日  | ・2022年5月25日  | ・2022年6月20日  |
| ・2022年7月25日  | ・2022年8月24日  | ・2022年9月28日  |
| ・2022年10月26日 | ・2022年11月21日 | ・2022年12月28日 |
| ・2023年1月25日  | ・2023年2月22日  | ・2023年3月22日  |

#### <総会の開催>

- ・2022年11月21日

### ②休眠預金活用事業の諸事務及び日常の会計経理、各種事務処理

- ・2022年4月6日
- ・2022年4月11日
- ・2022年4月21日

- ・ 2022年 5月25日
- ・ 2022年 8月26日
- ・ 2022年11月15日
- ・ 2022年11月28日
- ・ 2023年 2月21日
- ・ 2023年 2月27日
- ・ 2023年 3月 8日

③その他活動に関わる打合せ等

- ・ 2022年 4月21日
- ・ 2022年 5月18日
- ・ 2022年 6月 9日
- ・ 2022年 6月22日
- ・ 2022年 6月29日
- ・ 2022年 7月 6日
- ・ 2022年12月14日
- ・ 2023年 3月26日

(5) その他、目的の達成に必要な活動

①事業共催

- ・ 西胆振地域防災を考える市民フォーラム(主催:室蘭災害ボランティアネットワーク)  
2022年 9月16-17日 (打ち合わせ) 2022年 8月22日

②事業後援

③事業協力

- ・ これまでの大規模自然災害から考える現在の被災者支援制度 in 北海道(主催:3.11 から未来の災害復興制度を提案する会)  
2022年 7月23日 (打ち合わせ) 2022年 5月 6日、2022年 6月29日
- ・ ひがし北海道防災スクール 2022in 釧路(主催:ひがし北海道市民防災サポート)  
2022年 9月 23日

### ③ 他団体との協働・ネットワークの構築に関する活動

#### -05. 「B-camp-Lab (防災キャンプ研究所)」との協働

同研究所の高村秀史代表は当法人において防災キャンプデザイナーとして所属し、協働の取り組みを展開 参考 <https://bosaicamp.com/>

- ・ 2022年 4月 23日 宿泊型防災キャンプ※
- ・ 2022年 5月 21-22日 FieldStyle Jamboree/愛知 Sky Expo
- ・ 2022年 6月 19日 防災教育学会参加
- ・ 2022年 6月 25日 防災キャンプ※
- ・ 2022年 7月 16-18日 宿泊型防災キャンプ※
- ・ 2022年 7月 23日 大津谷キャンプ場サマーマーケット出展
- ・ 2022年 8月 19日 防災キャンプ※
- ・ 2022年 8月 21日 防災キャンプ※
- ・ 2022年 9月 29日 防災キャンプ
- ・ 2022年 11月 3~5日 防災キャンプおよび被災地視察/岩手県・宮城県※
- ・ 2022年 11月 19-20日 FieldStyle Seaside Market/愛知 Sky Expo
- ・ 2022年 12月 4日 防災キャンプ/東海市互助会
- ・ 2023年 1月 4日 とよたで学ぼうさい! とよた防災フェスタ
- ・ 2023年 2月 18日 ものづくり産業労働組合 JAM 静岡講習会

- ・ 2023年2月25日            URBAN NIGHT OWL CAMP FES
  - ・ 2023年3月11日            沖縄県宜野座村防災キャンプ講習
- ※印はキャンプ経験者からの意見を得るための試行的防災キャンプ（科研費助成）

#### -06. 「一般社団法人日本色彩療法士協会」との協働

同団体（外崎 由香 代表）では当法人篠原理事長が上級認定講師を務めており、各種事業において協働の取り組みを展開 参考 <http://7716.h-colorlab.com/>

- ・ 2022年10月16日 上級研修「ファシリテーション」

#### -07. 「一般社団法人 FEEL Do」との協働

同団体（栗原 英文 代表）では当法人篠原理事長が理事を務めており、各種事業において協働の取り組みを展開 参考 <https://www.feeldo.org/>

##### ■法人運営（会議）

- ・ 2022年4月29日            ・ 2022年5月17日            ・ 2023年6月21日

##### ■ミーティング等

- ・ 2022年9月20日            ・ 2023年1月10日            ・ 2023年3月31日

##### ■その他

- ・ 2022年6月4日～5日 大阪合宿

#### -08. KAERU 株式会社との協働

同企業（岡田知拓 代表）が開発する決済サービス「KAERU」の権利擁護事業等での活用に向けた意見交換等を実施 参考 <https://kaeru-inc.co.jp/>

- ・ 2022年12月8日

#### -09. 株式会社タクマとの協働

同企業が札幌市から受注した駒岡清掃工場更新事業において、新設する清掃工場に敷設される避難所の運営体制の構築に向けた各種事業を実施

- ・ 2022年4月15日            ・ 2022年4月26日            ・ 2022年5月31日
- ・ 2022年6月21日            ・ 2022年6月22日            ・ 2022年8月18日
- ・ 2022年12月9日            ・ 2022年12月27日            ・ 2023年3月28日

### ④ その他の活動

#### -10. その他の活動

- 札幌市議会議員からのヒアリング対応            2022年8月15日
- 道内市町村社協からの相談対応                    2022年9月9日



## 8) 法人運営事業

当法人の運営に必要な活動などを行っています。

### -01. 年次総会

・ 2022年 5月31日

### -02. 理事会

・ 2022年 5月31日                      ・ 2022年 7月30日

### -03. スタッフミーティング

・ 2022年 4月 1日                      ・ 2022年 4月21日                      ・ 2023年 5月17日  
・ 2022年 6月17日                      ・ 2022年 7月28日                      ・ 2022年10月11日  
・ 2022年11月14日                      ・ 2022年12月27日                      ・ 2022年12月29日  
・ 2023年 2月21日                      ・ 2023年 3月29日

### -04. 会計・税理事務

あすか税理士事務所からのアドバイザリー等

・ 2022年 5月10日                      ・ 2022年 5月26日                      ・ 2022年11月21日  
・ 2023年 3月28日

### -05. ごん太課長の出張

近隣住民の癒しのため、住民からの依頼に基づき出前出張等を行う

・ 2022年 6月23日

### -06. 各種研修会等への参加

- 日本地域福祉学会第 36 回全国大会（日本地域福祉学会）  
・ 2022年 6月11-12日
- 災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修会（北海道社会福祉協議会）  
・ 2022年 6月13日
- 全国福祉教育推進員研修（社会福祉法人全国社会福祉協議会）  
・ 2022年 8月 3日
- 令和 4 年度介護支援専門員更新研修（一般社団法人北海道総合研究調査会）  
・ 2022年 8月23日                      ・ 2022年10月13日                      ・ 2022年12月15日  
・ 2022年12月16日
- 伴走型支援基礎講座（日本福祉大学・日本伴走型支援協会）  
・ オンデマンド研修
- 多様な主体間における連携促進のための研修会（内閣府）  
・ オンデマンド研修
- 会計セミナー（NPO法人北海道NPOサポートセンター）

- ・ 2023年 3月15日
- ソーシャルワーク教育と地域福祉（日本地域福祉学会・日本ソーシャルワーク教育学校連盟）
- ・ 2023年 3月21日
- 日本福祉教育・ボランティア学習学会第28回こうべ大会
- ・ 2022年11月26-27日

## -07. その他

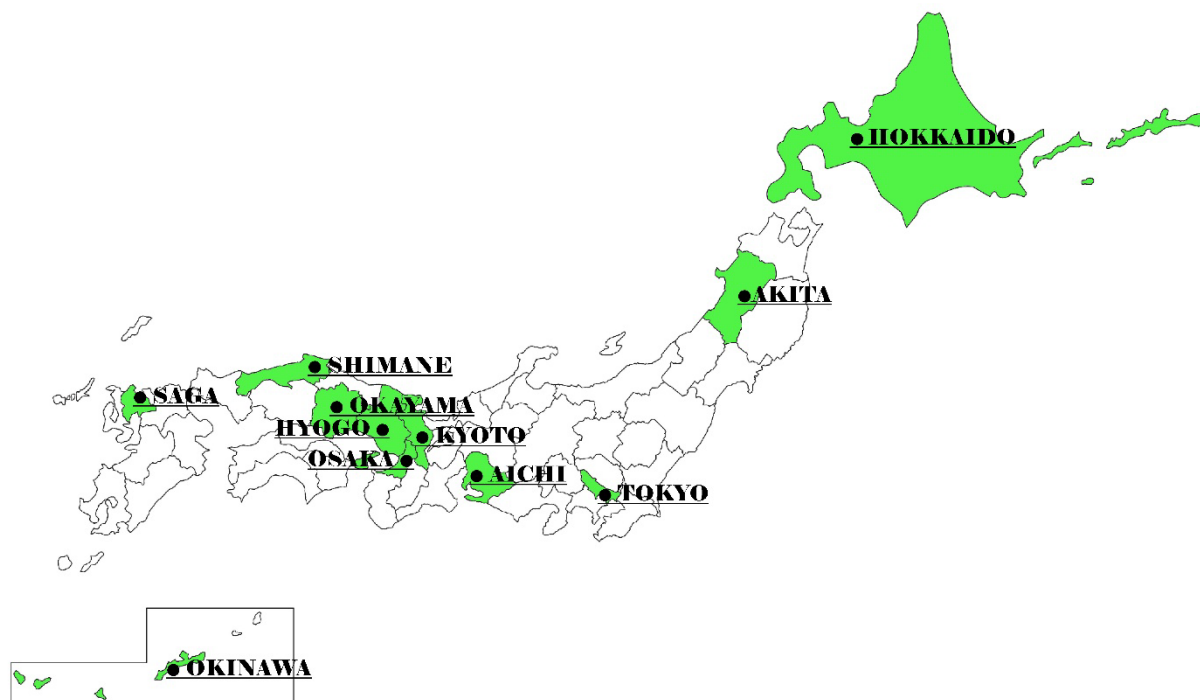
札幌市ワーク・ライフ・バランス plus への企業認証（ステップ3）

- ・ 認証日 2023年 3月 10日
- ・ アドバイザー派遣 2022年 10月 27日

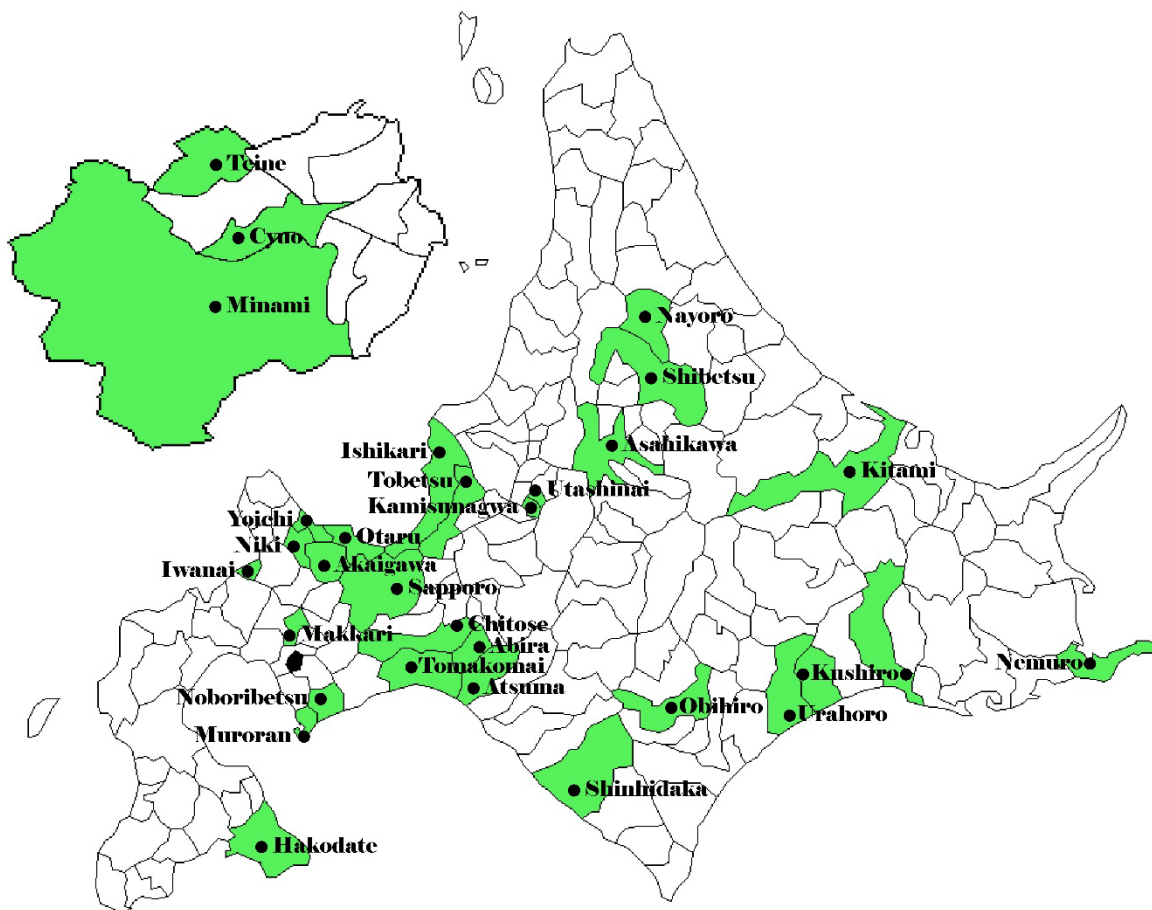


### 3. あしあと

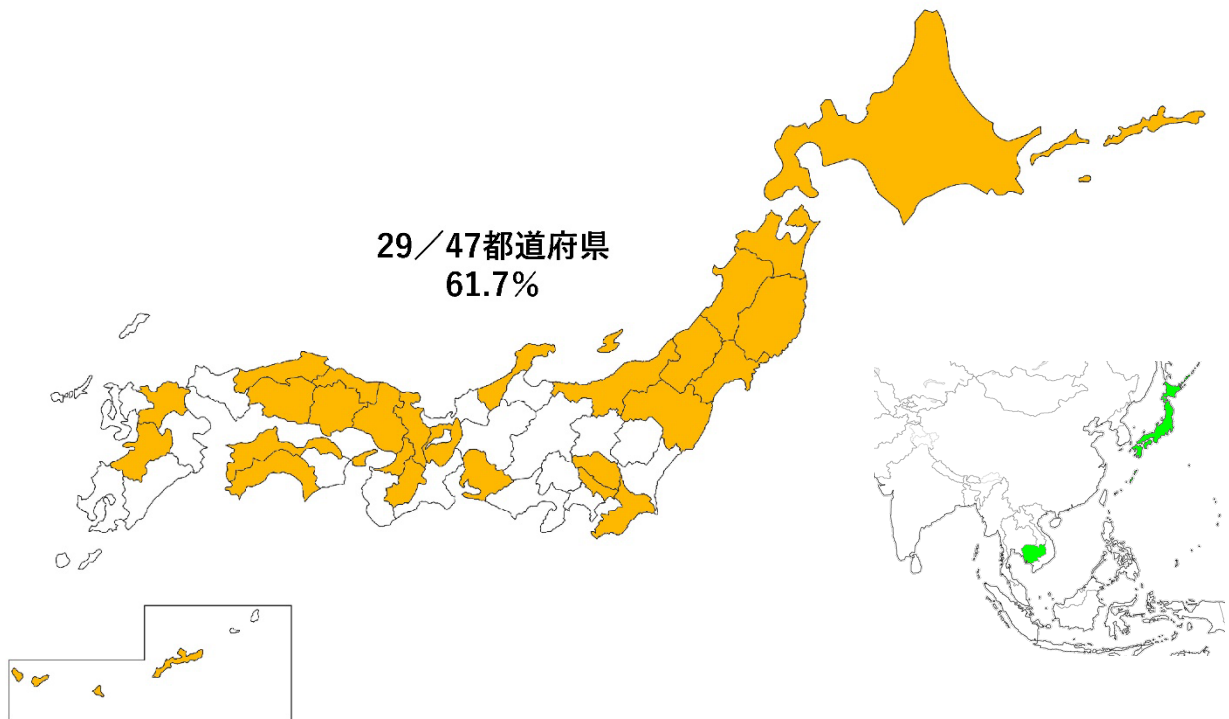
凡例：■ 2022 年度に業務を行った地域（都道府県域）



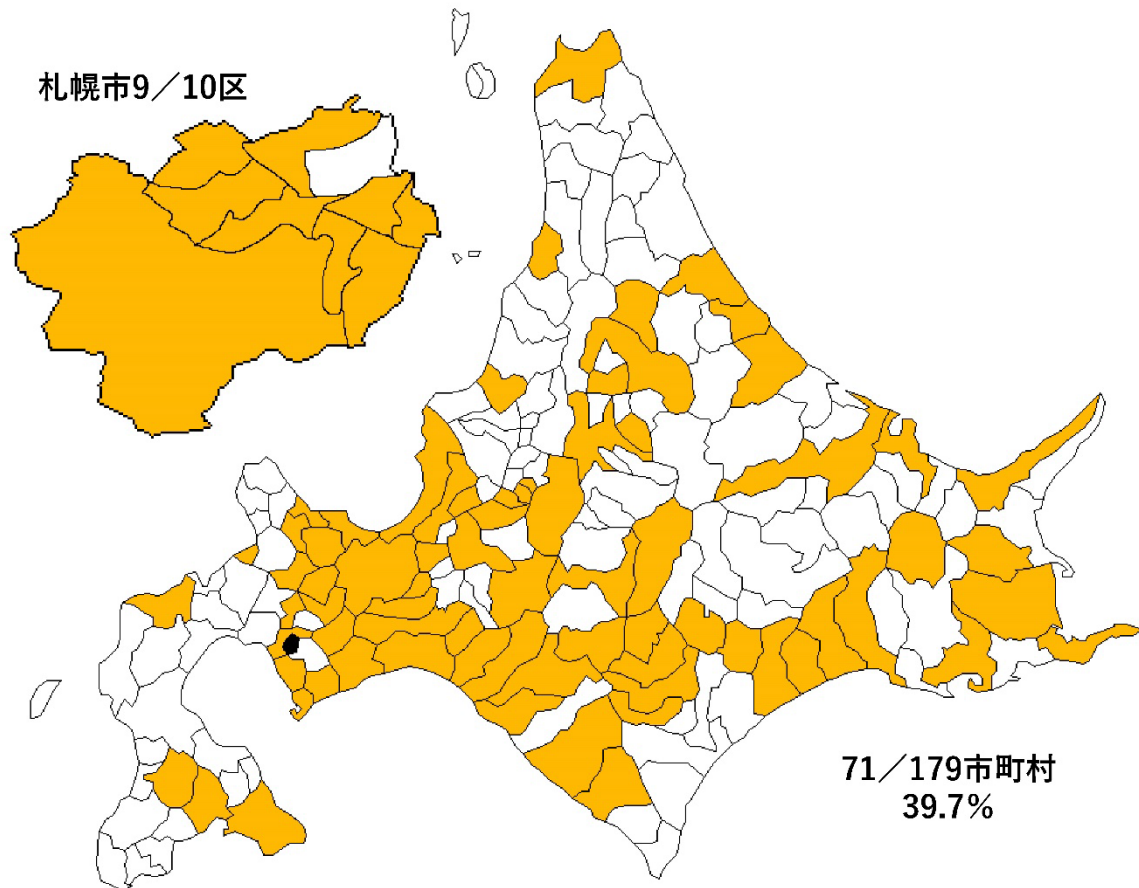
凡例：■ 2022 年度に業務を行った地域（北海道内市区町村域）



凡例：■法人設立以降（2012～）に業務を行った地域（都道府県域） ■国



凡例：■法人設立以降（2012～）に業務を行った地域（北海道内市区町村域）



## 4. 収支決算

2022年3月31日現在(単位:円)

非営利活動に係る事業会計貸借対照表

| 資産の部          |                   | 負債・正味財産の部          |                   |
|---------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 科目            | 金額                | 科目                 | 金額                |
| <b>【流動資産】</b> |                   | <b>【流動負債】</b>      |                   |
| (現金・預金)       |                   | 未払金                | 1,356,817         |
| 現金            | 1,514,652         | 前受金                | 150,000           |
| 普通預金          | 7,071,680         | 預り金                | 443,868           |
| 普通預金(ゆうちょ)    | 2,034,135         | 流動負債計              | 1,950,685         |
| 貯蓄用口座         | 20,000,000        | <b>【固定負債】</b>      |                   |
| 現金・預金計        | 30,620,467        | 退職給付引当金            | 545,000           |
| (売上債権)        |                   | 固定負債計              | 515,000           |
| 未収金           | 6,304,405         | <b>負債の部合計</b>      | <b>2,495,685</b>  |
| 売上債権計         | 6,304,405         | <b>正味財産の部</b>      |                   |
| (その他流動資産)     |                   | <b>【代替基金】</b>      |                   |
| 前払費用          | 114,840           | 代替基金               | 2,000,000         |
| 立替金           | 1,099             | <b>【代替基金】合計</b>    | 2,000,000         |
| 仮払金           | 965               | <b>【正味財産】</b>      |                   |
| その他流動資産計      | 116,904           | 正味財産               | 33,129,282        |
| 流動資産合計        | 37,041,776        | (うち当期正味財産増加額)      | △1,764,560        |
| <b>【固定資産】</b> |                   | 正味財産計              | 33,129,282        |
| (有形固定資産)      |                   | <b>正味財産の部合計</b>    | <b>35,129,282</b> |
| 車両運搬具         | 1                 |                    |                   |
| 什器備品          | 563,250           |                    |                   |
| 有形固定資産計       | 563,251           |                    |                   |
| (投資その他の資産)    |                   |                    |                   |
| リサイクル預託金      | 19,940            |                    |                   |
| 投資その他の資産計     | 19,940            |                    |                   |
| 固定資産合計        | 583,191           |                    |                   |
| <b>資産の部合計</b> | <b>37,624,967</b> | <b>負債・正味財産の部合計</b> | <b>37,624,967</b> |

非営利活動に係る財産目録

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

|            |            |  |
|------------|------------|--|
| 現金         | 1,514,652  |  |
| 普通預金       | 7,071,680  |  |
| 普通預金(ゆうちょ) | 2,034,135  |  |
| 貯蓄用口座      | 20,000,000 |  |
| 現金・預金 計    | 30,620,467 |  |

(売上債権)

|        |           |  |
|--------|-----------|--|
| 未収金    | 6,304,405 |  |
| 売上債権 計 | 6,304,405 |  |

(その他流動資産)

|           |         |  |
|-----------|---------|--|
| 前払費用      | 114,840 |  |
| 立替金       | 1,099   |  |
| 仮払金       | 965     |  |
| その他流動資産 計 | 116,904 |  |

流動資産合計

37,041,776

【固定資産】

(有形固定資産)

|          |         |  |
|----------|---------|--|
| 車両運搬具    | 1       |  |
| 什器備品     | 563,250 |  |
| 有形固定資産 計 | 563,251 |  |

(投資その他の資産)

|            |        |  |
|------------|--------|--|
| リサイクル預託金   | 19,940 |  |
| 投資その他の資産 計 | 19,940 |  |

固定資産合計

583,191

資産の部 合計

37,624,967

《負債の部》

【流動負債】

|        |           |  |
|--------|-----------|--|
| 未払金    | 1,356,817 |  |
| 前受金    | 150,000   |  |
| 預り金    | 443,868   |  |
| 流動負債 計 | 1,950,685 |  |

【固定負債】

|         |         |  |
|---------|---------|--|
| 退職給付引当金 | 545,000 |  |
| 固定負債 計  | 545,000 |  |

負債の部 合計

2,495,685

正味財産

35,129,282

## 5. わたしたちの取り組み

### 1. Mission 【社会的使命】

**Wellbe Design** は、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を行います。

- (1) 社会福祉に関する相談・支援事業
- (2) 社会福祉に関する事業の企画・運営事業
- (3) 社会福祉に関する情報の収集・提供事業
- (4) 社会福祉に関する調査・研究事業
- (5) 社会福祉に関する出版・編集事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

### 2. Vision 【活動理念】

**WellbeDesign** は、「地域研究」・「地域開発」・「人材育成」の包括的プロジェクトにより、地域福祉活動の担い手を支えられるチカラになります。この理念に基づき、各種機関・団体との連携により、法人の使命を果たす取り組みを行っています。

### 3. Value 【社会的価値】

**WellbeDesign** は、“ひとづくり”と“地域づくり”のデザイナーとして存在し、Well-being (福祉、幸福、健康) と、Design (デザイン) をあわせた造語「**Wellbe Design** (ウェルビー・デザイン)」を法人名称としました。

### 4. Logotype 【ロゴに込めた思い】

ハニカム構造の各頂点から対角線を記したデザインは、地域の様々な資源の連携による強固な地域を意味し、右に飛び出た正三角形は社会への参画や組織から生まれ出る成果を表しています。





## 6. 定款

### 第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人 Wellbe Design と称し、略称を WD とする。

(主たる事務所)

第2条 当法人は、主たる事務所を札幌市厚別区に置く。

2 当法人は、社員総会の決議により、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を行う。

- (1) 社会福祉に関する相談・支援事業
- (2) 社会福祉に関する事業の企画・運営事業
- (3) 社会福祉に関する情報の収集・提供事業
- (4) 社会福祉に関する調査・研究事業
- (5) 社会福祉に関する出版・編集事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(公告)

第4条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、当法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

### 第2章 社 員

(入社)

第5条 当法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。

2 社員となるには当法人所定の様式による申込みをし、理事長の承認を得るものとする。

(経費等の負担)

第6条 社員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2 社員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(社員の資格喪失)

第7条 社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退社したとき。
- (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。
- (4) 6か月以上会費を滞納したとき。
- (5) 除名されたとき。
- (6) 総社員の同意があったとき。

(退社)

第8条 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をする

ものとする。

(除名)

第9条 当法人の社員が、当法人の名誉を毀損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、一般社団及び一般財団法人に関する法律(以下「一般法人法」という。)第49条第2項に定める社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

(社員名簿)

第10条 当法人は、社員の氏名又は名称及び住所を記載した社員名簿を作成する。

### 第3章 社員総会

(社員総会)

第11条 当法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会とし、定時社員総会は、毎事業年度の終了後3か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に応じて開催する。

(開催地)

第12条 社員総会は、主たる事務所の所在地において開催する。

(招集)

第13条 社員総会の招集は、理事が過半数をもって決定し、理事長が招集する。

2 社員総会の招集通知は、会日より5日前までに各社員に対して発する。

(決議の方法)

第14条 社員総会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の議決権の過半数をもってこれを行う。

(議決権)

第15条 各社員は、各1個の議決権を有する。

(議長)

第16条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。理事長に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。

(議事録)

第17条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

### 第4章 理事

(理事の設置)

第18条 当法人に、理事3名以上を置く。

2 理事のうち、代表理事1名を定め、代表理事をもって理事長とする。

3 理事のうちから、副理事長、専務理事及び常務理事各若干名を定めることができる。

(選任等)

第19条 理事は、社員総会の決議によって社員の中から選任する。ただし、必要があるときは、社員以外の者から選任することを妨げない。

2 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事は、理事の互選によって定める。

3 理事のうち、理事のいずれかの1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。

(任期)

第20条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

3 理事は、辞任又は任期満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(理事の職務権限)

第21条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2 理事は、当法人の業務を執行する。

(理事の報酬等)

第22条 役員報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益は、社員総会の決議をもって定める。

(取引の制限)

第23条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合には、社員総会において、その取引について重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除)

第24条 当法人は、役員一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、社員総会の特別決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

## 第5章 基金

(基金の拠出)

第25条 当法人は、社員又は第三者に対し、一般法人法第131条に規定する基金の拠出を求めることができるものとする。

(基金の募集)

第26条 基金の募集、割当て及び払込み等の手続については、理事が決定するものとする。

(基金の拠出者の権利)

第27条 拠出された基金は、基金拠出者と合意した期日までは返還しない。

(基金の返還の手続)

第28条 基金の拠出者に対する返還は、返還する基金の総額について定時社員総会における決議を経た後、理事が決定したところに従って行う。

## 第6章 計算

(事業年度)

第29条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月末日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第30条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(剰余金の分配の禁止)

第31条 当法人は、剰余金を分配することができない。

(残余財産の帰属)

第32条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第7章 附 則

(最初の事業年度)

第33条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から平成25年3月末日までとする。

(設立時社員の氏名ほか)

第34条 設立時社員の氏名又は名称及び住所並びに設立に際して割り当てを受ける基金の額は、次のとおりである。

篠原 辰二

札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

金100万円

佐藤 大介

札幌市白石区栄通13丁目1番34-105号

金100万円

(設立時の理事及び代表理事)

第35条 当法人の設立時役員は、次のとおりである。

設立時理事 篠原 辰二、佐藤 大介

設立時代表理事 篠原 辰二

(法令の準拠)

第36条 本定款に定めのない事項は、すべて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律その他の法令に従う。

## 7. 役職員紹介 Staff

### 篠原辰二（しのはら・しんじ：理事長：社会福祉士）

北海道内2つの市町で社会福祉協議会職員として14年勤務。地域特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。社会福祉士。防災士。1976年生れ。道都大学社会福祉学部卒、北海道伊達市出身。

### 岡部和夫（おかべ・かずお：副理事長）

34年間の北海道社会福祉協議会を経て、道内2大学において社会福祉教育（地域福祉）に10年携わる。社会福祉協議会活動を始め、民生委員児童委員活動、住民組織活動等の実践と研究に努める。2009年に発刊された「社協再生—社会福祉協議会の現状分析と新たな活路」（中央法規）では第2章を執筆。1941年生れ。東北福祉大学社会福祉学部卒。北海道洞爺湖町出身。

### 佐藤大介（さとう・だいすけ：専務理事：社会福祉士/精神保健福祉士）

市社会福祉協議会と福祉系大学での勤務経験を持ち、地域福祉・災害ソーシャルワーク・住民主体による小地域福祉活動の実証的研究、福祉教育に関する研究を行っている。日本福祉大学全学教育センター助教。社会福祉士、精神保健福祉士。北星学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。1980年生まれ。北海道函館市出身。

### 篠原三恵子（しのはら・みえこ：総務課長）

法人設立時より研究者及び研究機関からの依頼により、インタビュー調査の文字起こしやデータ入力および集計などの調査研究補助業務を担う。また、法人の経理及び庶務を取り扱う勤続8年目を迎えた職員。

### 佐藤結希（さとう・ゆき：コミュニティデザイナー：社会福祉士/介護支援専門員）

社会福祉協議会での勤務経験を経て2017年9月に当法人正職員第一号として入社。社会福祉士と介護支援専門員の両視点から、地域福祉と地域包括ケアを融合させた取り組みを展開している。

### 本田綾子（ほんだ・あやこ：コミュニティデザイナー/復興支援コーディネーター）

医療現場で相談援助職として勤務した経験を経て2019年8月に当法人に入社。フットワークの軽さと学生時代から培った災害支援の経験を踏まえ、北海道胆振東部地震の支援を担当している。

### ごん太（ごんた：課長）

動物保護活動を行うNPO法人に所属していたところ、縁あって理事長夫婦に養子に迎えられた。大きな体、大きな声、長いしっぽが特徴で、初めて会う人には必ず「でかい」と言われる。2006年生まれ（推定）。北海道苫小牧市出身。

### くう太（くうた：見習い）

2022年2月、先代のちび太に次ぎ、篠原家にやってきた2代目ジャックラッセルテリア。絶賛トイレトレーニング中の子犬でありトレーニングが完了するまでは見習いの身。2021年9月生まれ。北海道恵庭市出身。

※ 役員及び常勤職員のみ掲載しております。このスタッフの他、業務提携するスタッフを含め、総勢11名（+2匹）で各種の業務を行っております。

## 8. ご支援（会員登録）のお願い Support

当法人の活動にご賛同いただける会員を募集しております。

会員の皆様には当法人が行う各種事業の詳細について情報提供を行うほか

当法人が主催する研修会の参加費に会員割引が適用されます。

会員（個人・団体）会費 一口 10,000 円／年額

これからも **Wellbe Design** をよろしく願いいたします。

## 一般社団法人 Wellbe Design 会員規程

### (目 的)

第1条 この規程は一般社団法人 Wellbe Design（以下、「当法人」という）定款第5条に定める社員と区別し、当法人の目的に賛同し、賛助の意志を持つ個人及び団体について必要な事項を定める。

### (定 義)

第2条 この規程で定める会員とは、次の2種とする。

- (1) 個人会員 当法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ個人
- (2) 団体会員 当法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ団体（法人格の有無を問わない）

### (入 会)

第3条 当法人の会員になろうとするものは、所定の入会届に必要な事項を記入して理事長に提出し、理事会の議決による承認を得るものとする。

### (会 費)

第4条 会員は以下の会費を納入しなければならない。

- (1) 個人会員 10,000円/年
- (2) 団体会員 10,000円/年

2 前号で定める会費は入会時から当該年度末を期限とする。

### (権 利)

第5条 会員は当法人が主催または対応した各種事業に関する情報を得ることができる。

2 前号で定める事項について、個人情報や著作等における保護が必要と認められる場合は、当法人により制限を設ける場合がある。

### (資格の喪失)

第6条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき
- (3) 正当な理由なく会費を滞納し、督促をうけても1年以上納入しないとき
- (4) その他の事情により理事会において会員の資格の喪失が必要と判断したとき。ただし、その会員に対し、資格喪失の事由を明らかにし、必要に応じて弁明の機会を与える。

### (退 会)

第7条 会員はいつでも理事長に退会届を提出して退会することができる。

2 年度途中で退会となった場合、既納の会費は返還しない。

### (細 則)

第8条 この規程の変更または施行に関し必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

### 附 則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(会員規程 様式1号)

## 入 会 届

一般社団法人 **Wellbe Design** 理事長 宛

会員規程に基づき、以下のとおり入会を希望します。

|                                  |   |               |  |
|----------------------------------|---|---------------|--|
| 会員種別                             | <input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 団体会員   | 申 込 日         | 年   月   日  |
| お 名 前                            | (カ)   |               |  |
| または<br>団 体 名                     | 印   |               |  |
| (団体の場合)                          | (カ)   |               |  |
| 代 表 者<br>職 氏 名                   | 印   |               |  |
| 【A】<br>住 所 等<br>連 絡 先            | ※個人の場合は自宅住所を記入<br>〒<br>電 話<br>F A X<br>Eメール   |               |  |
| 【B】<br>(個人の場合)<br>勤務先名称<br>連 絡 先 | 〒<br>電 話<br>F A X<br>Eメール   |               |  |
| 生年月日<br>(設立年月日)                  | <input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 西暦<br>年   月   日  | 送付物の<br>郵 送 先 | <input type="checkbox"/> 送付先【A】<br><input type="checkbox"/> 個人宅【B】 |
| 入会の理由<br>または<br>メッセージ            |   |               |  |
| 法人記載欄                            | <input type="checkbox"/> 申込書受理日                      年   月   日<br><input type="checkbox"/> 入会承認日                              年   月   日<br><input type="checkbox"/> 初年度会費納入日                      年   月   日 | 【付記】          |  |



## 9. 事務所在地 Office

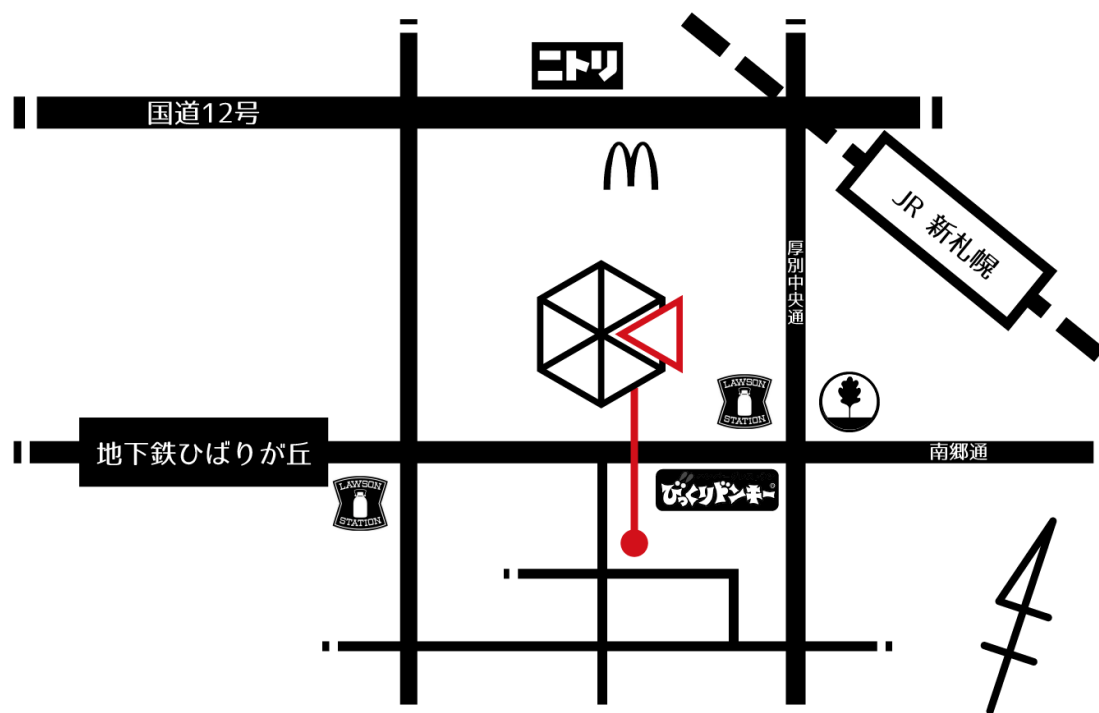
〒004-0022 北海道札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

電話 011-801-7450 FAX 011-801-7451

URL <http://www.wellbedesign.jp> E-mail [info@wellbedesign.jp](mailto:info@wellbedesign.jp)

営業時間 平日 9:00~17:00 (年末年始休業 12月30日~1月5日)

事務所在地・MAP

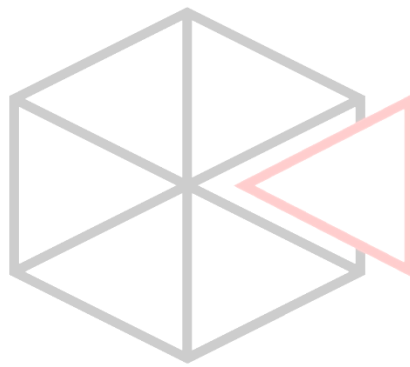


地下鉄：東西線ひばりが丘駅3番出口 徒歩3分

J R：新札幌駅 徒歩15分

お車：札幌南ICから5分





# Wellbe Design